

1. 本園の教育目標

仏教的情操教育のもと知恵の芽生えを促し自己肯定感を育て自立の基礎を養います。
みほとけさまに見守られている安心感をベースに、全てのいのちに感謝する心を育みます。

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

- ・園内研修の徹底を図り保育内容の探求意識を高め、更なる子ども主体の保育実践につなげる。
- ・幼小連携や地域との関わりを考察し園外へと視野を広げた環境づくりに取り組む。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A: 達成している B: 一部達成している C: 一部改善を要する D: 改善を要する

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
教職員相互の連携	B	報告・連絡・相談の徹底を図り園全体で情報共有するように努める
保護者への対応 家庭支援	A	園生活の様子をアプリなどで配信し保護者との円滑な関係づくりに繋げる
地域とのかかわり	B	挨拶を交わしたり園児が日常的に地域と触れ合うことを通し、園外へ視野を広げ様々な人と関わる環境をつくる

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A: 達成している B: 一部達成している C: 一部改善を要する D: 改善を要する

評価	理由
B	全体で情報共有に努め、協力体制が整った。れんらくアプリでのブログ配信により保護者に園生活の様子を伝えることができている 地域との関わりは増えてきたが更につながりを深め様々な体験を通し園児の視野をもっと広げていきたい

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
教職員相互の役割	職員個々が主体性や責任感を持って行事など取り組めるよう役割を分担し推進する
幼小連携・円滑な接続	小学校との相互理解を深め、カリキュラムを用いた幼小連携の実現を図る
地域との関わり	園児が自ら率先してあいさつを交わせるよう、大人がその姿を見せたり、絵本などを活用し習慣化できるようにする

6. 学校関係者評価委員会の評価

自己評価結果から、素晴らしい保育をされていたのだなと感じました。キャンドルナイトに参加させて頂いた際には、園長先生のお話を伺い、子ども達の興味関心を踏まえた環境を設定し、保育を展開されていたことがよく分かりました。自由記述からも先生方が指導と評価の一体化を意識し保育されていた事や安全に対して常にアンテナを張っていた事、職員間においても常に対話を繰り返して同僚性を育まれていた事も分かりました。小学校も頑張っていないといけないなと思いました。1年間ありがとうございました。令和6年度も、どうぞよろしくお願いします。

学校関係者評価委員

北九州市立 門司中央小学校 校長 田上 美香子
門司まちづくり協議会 会長 門井 豊
北九州市立 老松市民センター 館長 小田 喜美子